

1. 件名：水素防護対策に係る電力事業者等との面談
2. 日時：令和4年6月16日 13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 技術基盤課 遠山課長、照井課長補佐

原子力規制部 原子力規制企画課 堀専門職、佐藤係長

東北電力株式会社 原子力部 原子力技術課長 他3名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 原子炉安全技術グループマネージャー 他6名

中部電力株式会社 原子力部 安全技術グループ 課長 他3名

北陸電力株式会社 原子力部 原子力安全評価チーム統括 他1名

中国電力株式会社 電源事業本部 原子力安全グループマネージャー 他3名

日本原子力発電株式会社

発電管理室 技術・安全グループマネージャー 他3名

電源開発株式会社

原子力技術部 炉心・安全室 安全技術タスク総括マネージャー

原子力エネルギー協議会（ATENA） 部長 他2名

5. 要旨

- 原子力規制庁から、次回東京電力福島第一原子力発電所事故に関する知見の規制への取り入れに関する作業チーム事業者意見聴取会合（以下単に「会合」という。）について、7月下旬頃を目途に開催を検討しており、第1回会合同様、会合に先立ち原子力規制庁から議論の趣旨や確認事項等を伝えるため準備を行っている旨伝え、ATENA及び事業者（以下「事業者等」という。）の対応状況について確認した。
- 事業者等から、議論の趣旨や確認事項等が示されれば、会合に向けて資料等の準備を進める旨、回答があった。
- 原子力規制庁から、次回会合においては、事業者における対策及びその前提となるプラントウォークダウンの実施に係る予定時期等について説明を求めることになるので準備すること、また、説明の際は第1回会合の結果報告（令和4年5月25日第12回原子力規制委員会議題6）の際の原子力規制委員会委員からのコメントを踏まえること等を伝えた。
- 事業者等から了解した旨回答があった。

6. 資料：

- 令和4年度第12回原子力規制委員会資料6
<https://www.nsr.go.jp/data/000391376.pdf>

以上